

サギタリウス・チャレンジ チャレンジ部門
企画実施報告書

タイトル	学内で採れたハチミツで商品開発	
実施日	2019年 5 月 29 日 (水) ～ 2019 年 12 月 8 日 (日)	
代表者	学生証番号	氏 名
	613217	田村啓人
企画概要	学内で採れた蜂蜜を用いてナッツの蜂蜜漬け(ハニーナッツ)を制作する。そしてそれを販売するとともに、制作元でもあるミツバチ同好会 B000N!!と彼らが行なっている養蜂活動を世に広めることを目的とする。	
活動状況	6月:ハチミツ買い戻し 7月、8月、9月: 製造元 燻製マーケットさんへ訪問、ハニーナッツ製造依頼の打ち合わせ 京都産業大学同窓会へ広報チラシ作成、提出 10月:ハチミツの衛生検査 11月:ラベル作成、ミツバチ同好会 B000N!!のチラシ作成 12月:ハニーナッツ受け取り、販売 1月:フィードバック&アンケート作成	
考 察	<p>ハニーナッツの販売は成功で終わることが出来た。そして当初の目的である、「ミツバチ同好会 B000N!!と彼らが行なっている養蜂活動を世に広めること」ということに関してだが、これも結果としては成功と言える。</p> <p>活動宣伝対象を大きく 3 つに分類して以下に述べていく。最初に京都産業大学同窓会。つづいて学内、そして最後に学外というように分類する。</p> <p>まず同窓会について。製品を購入された人たちに B000N の Twitter、ホームページの情報を掲載したチラシを同封した。製品を購入された方のみならず、会場内を回りチラシの配布を行った。これによって 150 部近く行き渡ったので少なくともそれだけの人たちに知られたことになる。</p> <p>続いて学内についてだが、これについては以前サギタリウスチャレンジ(以下サギチャレ)の本学ホームページへの掲載が挙げられる。このことにより、具体的にどのくらいの人たちが見たかは不明だが、本学ホームページを見た人たちの中で B000N に対する認知度は少</p>	

	<p>しではあるが高まったように思われる。</p> <p>最後に学外について述べる。</p> <p>今回の活動を受け、学校側から受験生向けのパンフレット掲載の話が来た。例年、このパンフレットは10万部ほど発行され、単純に考えると10万人に活動を宣伝するということになる。</p> <p>以上3つの点から、今回の活動目的は達成されたと言える。</p>
<p>所 感</p>	<p>今回、成功に繋がった大きな要因として挙げられるのが、まず商品完売。そしてその成果を知った人たちから取り上げられた、ということだ。</p> <p>商品完売についての成功要因は、ターゲットが京都産業大学のOB・OGであったことと、グランドプリンスホテルでの販売許可を直談判しに行ったことが挙げられる。</p> <p>やはり本学出身の方たちをターゲットに置いたので、僕たち後輩らの取組に少しでも協力して下さるということに繋がったのだと考える。</p> <p>さらに挙げると、グランドプリンスホテルに直談判しに向かった熱意が伝わり、商品完売に大きく貢献したのだと考える。本来神山ホールのみでの販売だったが、販売許可の降りていないグランドプリンスホテルへせめてチラシ配布の宣伝だけでもと向かったところ、その熱意が買われ特別に販売を許可していただいた。その勢いで販売に臨んだところ活動に共感して下さったことから完売に終わることが出来たと考える。</p> <p>今までの活動が学校に認められ、今回のようなパンフレット掲載という大きな宣伝に繋がりを、企画活動としては成功という形で終わられそうである。</p>